

令和6年度 一般会計決算【概要】

①一般会計歳入

(単位：千円)

	科目	R6決算額	R5決算額	増減額	増減割合	特徴など
1	市税	31,441,216	31,443,215	▲ 1,999	0.0%	個人(▲4.7億円)※定額減税(▲8.7億円)除外→(+4.0億円)、法人(+2.2億円)、固定(+2.0億円)
2	地方譲与税	315,920	315,678	242	0.1%	前年度並み
3	利子割交付金	80,333	58,387	21,946	37.6%	預金利率の引き上げ等に伴う増
4	配当割交付金	413,750	310,353	103,397	33.3%	好調な企業業績を背景に、株式配当金の増加に伴う増
5	株式等譲渡所得割交付金	603,754	332,693	271,061	81.5%	新NISA開始に伴う個人投資家の増加や、好調な株式相場等を背景に、株式等譲渡所得の増加に伴う増
6	法人事業税交付金	652,168	617,192	34,976	5.7%	企業収益が堅調に推移したことに伴う増
7	地方消費税交付金	4,597,301	4,396,091	201,210	4.6%	個人消費や輸入取引の堅調な推移に伴う増
8	自動車取得税交付金	1,089	2,355	▲ 1,266	-53.8%	令和5年度の臨時的増(追加徴収)の影響減少に伴う減
9	環境性能割交付金	117,418	88,120	29,298	33.2%	課税台数・一台あたりの取得価格の増に伴う増
10	地方特例交付金	1,101,129	216,001	885,128	409.8%	定額減税の減収補填措置に伴う増(+8.9億円)
11	地方交付税	3,081,337	2,619,073	462,264	17.6%	給与改定に伴う職員人件費への対応(+2.8億円)、臨時経済対策(+2.0億円)などに伴う増
12	交通安全対策特別交付金	16,175	18,045	▲ 1,870	-10.4%	交通事故発生件数の減
13	分担金及び負担金	201,391	259,688	▲ 58,297	-22.4%	保育料の第2子無償化に伴う民間保育所利用者負担金の減
14	使用料及び手数料	1,377,117	1,362,056	15,061	1.1%	前年度並み
15	国庫支出金	15,755,101	15,252,883	502,218	3.3%	新型コロナワクチン関連の減(▲7.8億円)、児童手当関連の増(+10.1億円)、障害福祉関連の増(+2.6億円)など
16	都支出金	12,184,294	11,482,836	701,458	6.1%	選挙費(衆議院、知事)の増(+1.7億円)、学校給食公費負担化に伴う増(+1.3億円)など
17	財産収入	149,406	159,151	▲ 9,745	-6.1%	土地売り払い収入の減など
18	寄附金	54,203	46,386	7,817	16.9%	指定寄付金の増など
19	繰入金	1,837,121	3,242,206	▲ 1,405,085	-43.3%	R5の公共施設等整備基金への統合の影響の減、財政調整基金からの繰入金の減(▲3.6億円)
20	繰越金	3,890,010	2,820,130	1,069,880	37.9%	R5における収支(歳入と歳出の差額)改善に伴う増
21	諸収入	1,433,760	1,652,499	▲ 218,739	-13.2%	川辺堀之内土地区画整理事業に伴う補助金返還金の減(▲4.0億円)など
22	市債	978,700	1,516,627	▲ 537,927	-35.5%	子ども包括支援センター建設事業終了、区画整理事業縮小に伴う減
	合計	80,282,693	78,211,665	2,071,028	2.6%	

②一般会計歳出

(単位：千円)

	科目	R6決算額	R5決算額	増減額	増減割合	特徴など
1	議会費	440,837	413,451	27,386	6.6%	議場映像システム更新業務の増(+0.2億円)など
2	総務費	9,288,269	9,554,296	▲266,027	-2.8%	R5の公共施設等整備基金への統合の影響の減、財政調整基金への積立の増(+5.1億円)、職員退職手当の増(+5.8億円)など
3	民生費	40,068,675	38,849,232	1,219,443	3.1%	障害福祉関連経費の増(+5.5億円)、児童手当関連経費の増(+3.9億円)、物価高騰等に対する給付金の増(+2.4億円)
4	衛生費	6,398,686	6,871,307	▲472,621	-6.9%	新型コロナワクチン関連経費の減(▲7.8億円)、市立病院への繰出金の増(+1.2億円)、ごみ等収集運搬委託の増(+1.0億円)など
5	労働費	33,431	52,683	▲19,252	-36.5%	勤労・青年会館関連経費の減(▲0.2億円)
6	農業費	147,490	118,527	28,963	24.4%	都市農業経営力強化事業補助金の増(+0.3億円)
7	商工費	559,118	764,913	▲205,795	-26.9%	キャッシュレス決済活用物価高騰対策事業の減(▲1.9億円)
8	土木費	4,684,557	4,302,036	382,521	8.9%	樹木緊急点検・剪定等業務の増(+1.9億円)、豊田跨線人道橋補修工事の増(+1.1億円)、下水道特会への繰出金の減(▲2億円)など
9	消防費	2,346,500	2,245,094	101,406	4.5%	防災情報センター非常用発電機更新工事の増(+1.0億円)
10	教育費	9,009,509	7,833,258	1,176,251	15.0%	豊田小大規模改造工事関連の増(+4.0億円)、学校給食(食材)費補助金の増(+2.0億円)など
11	公債費	3,484,348	3,236,390	247,958	7.7%	繰上償還の増(+2.3億円)、元金返済開始(R2、R3借入分)償還額の増 ※臨時財政対策債、本庁舎整備事業、土地区画整理事業など
12	諸支出金	86,965	80,470	6,495	8.1%	
	合計	76,548,385	74,321,657	2,226,728	3.0%	

③一般会計収支

(単位：千円)

	科目	R6決算額	R5決算額	増減額	増減割合	特徴など
1	歳入歳出差額(形式収支)	3,734,308	3,890,010	▲155,702	-4.0%	
2	実質収支額	3,482,080	3,751,265	▲269,185	-7.2%	実質収支額はR5決算(史上2番目に高い数値)に比べ減となったが、高い水準を維持している。 単年度収支額はR4から急速に改善したR5と比較すると大きく減となったが、財政調整基金の増減を含める実質単年度収支では黒字となっており、鈍化はしたが財政回復傾向が続いている。
3	単年度収支額	-269,185	1,110,922	▲1,380,107	-124.2%	
4	実質単年度収支額	448,768	731,431	▲282,663	-38.6%	

実質収支：歳入歳出差額(形式収支)から、翌年度繰越事業で使う財源を差し引いた額

単年度収支額：当該年度の実質収支額と前年度の実質収支額の差額

実質単年度収支額：単年度収支額に、黒字要素(財政調整基金への積立額等)を加え、赤字要素(財政調整基金の取崩額)を引いたもの。

④一般会計基金・市債残高

(単位：千円)

	科目	R6決算額	R5決算額	増減額	増減割合	特徴など
1	一般会計基金残高	15,789,797	15,126,052	663,745	4.4%	全ての基金残高、財政調整基金残高共に前年度比で増となったが、減となった基金も含まれる。 (財調+4.9億円、公共▲0.0億円、退職▲1.4億円、緑化▲1.8億円、周辺環境+3.0億円、減債+1.8億円)
2	うち財政調整基金残高	6,099,123	5,606,208	492,915	8.8%	
3	一般会計市債残高	29,447,956	31,830,638	▲2,382,682	-7.5%	市債残高は臨時財政対策債の借入減、繰上償還の実施などにより残高減となった。